授業科目名	担当教員名	授業実施日	※
学問の面白さを知る	奥村 隆平	6月15日(火)	
学生番号	学部・学科	学年	氏名
04100108-7	経済学部	1年	立石千尋

経済学とは何か、について説明をする時に、しばしば「経済学とは無限の欲望と有限の物質のバランスをとる学問」という言葉を使われることがありました。しかし私には全ての人が無限の欲望の中にいるとは思えづらく、それは納得のいかないものでした。そのような中、先生の授業の冒頭にあった塩野七生さんやバラク・オバマさんの文を読んで強い衝撃を受けました。人々が明日の暮らしを不安に思うことなく生活するための学問、そう考えると経済学はとても人に優しい学問だと感じました。

日本は世界的には平和と言われてはいますが、実際は楽観論による歳出と税金の溝の広がり、首が回らない状況にあります。しかしそのような状況下にあっても私たちのような学生は事態の深刻さを理解できていない部分があります。国民の貯蓄によって国債保有増が賄われているという針の上になんかような立場にある上、これから少子高齢化が更に加速すると予想される日本において、次の世代を担うはずの学生がこの事態をわかっていないとあってはならないことだと私は焦りを感じました。

多くの要因が絡む中、日々変動してゆく経済ですが、明日の家族がより安心して暮らすために、私たちが何をすべきなのか、今はまだはっきりとした答えは出ませんが、もう一度しっかりと考えたいと思いました。